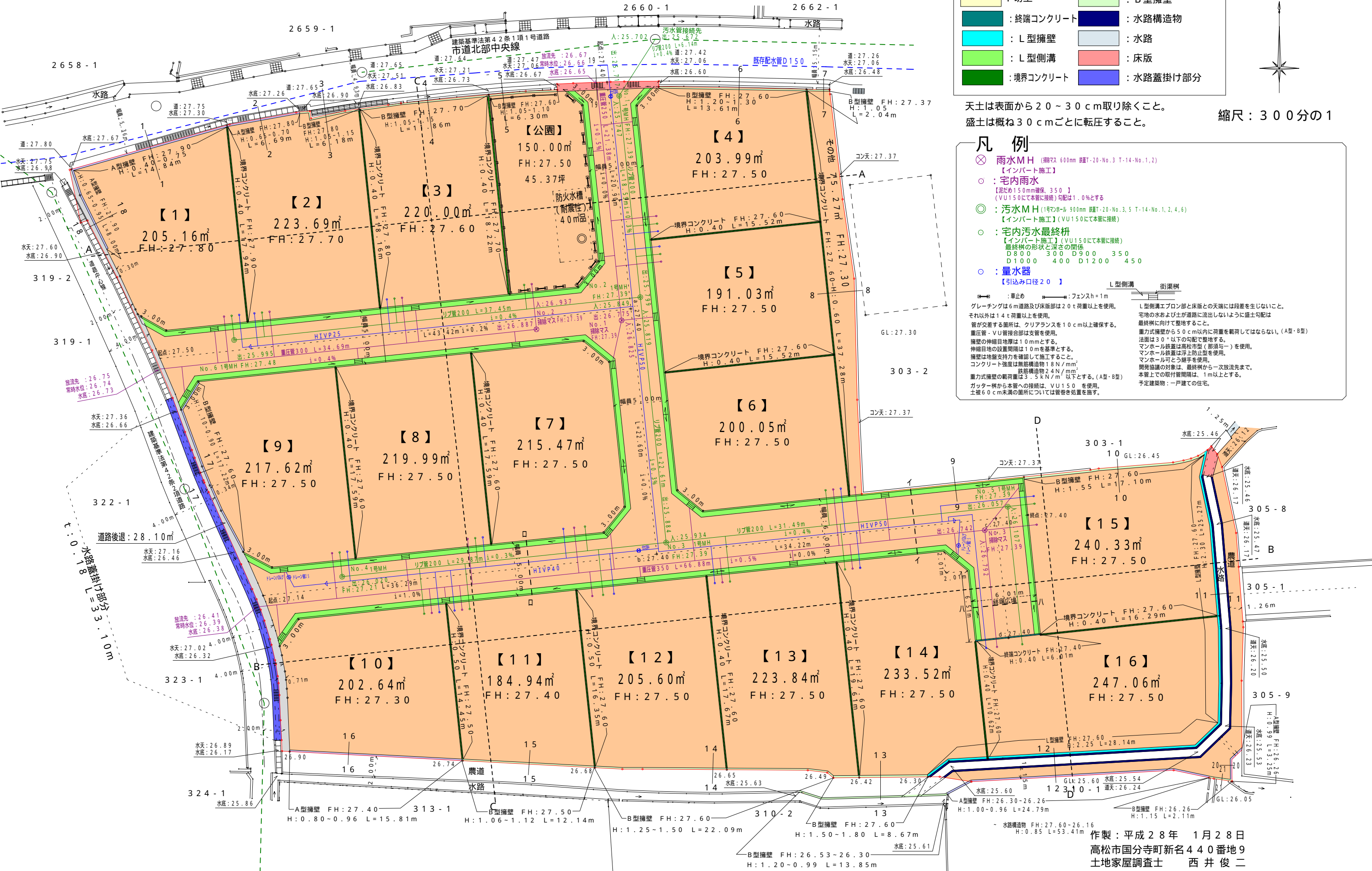


# 造成計画平面図

所在: 高松市国分寺町新名440番地9 304-1、314-1、315、316-1、316-5の一部 317-1及び地先農道水路、市道



凡例

盛土(良質粘土)	A型擁壁
切土	B型擁壁
終端コンクリート	水路構造物
L型擁壁	水路
L型側溝	床版
境界コンクリート	水路蓋掛け部分

土質は表面から20~30cm取り除くこと。  
 盛土は概ね30cmごとに転圧すること。  
 縮尺: 300分の1

凡例

- ⊗ 雨水MH (規格寸 600mm 鉄蓋T-20-No.3 T-14-No.1,2) 【インバート施工】
- 宅内雨水  
 【泥ため150mm確保、350】  
 (VU150にて本管に接続) 勾配は1.0%とする
- ⊙ 汚水MH (1号寸ホ-ル 900mm 鉄蓋T-20-No.3.5 T-14-No.1,2,4,6) 【インバート施工】(VU150にて本管に接続)
- 宅内汚水最終枡  
 【インバート施工】(VU150にて本管に接続)  
 最終枡の形状と深さの関係  
 D800 300 D900 350  
 D1000 400 D1200 450
- 量水器  
 【引込み口径20】

止り止め  
 フェンスh=1m  
 L型側溝  
 街渠枡

グレーチングは6m道路及び床版部は20t荷重以上を使用。  
 それ以外は14t荷重以上を使用。  
 管が交差する箇所は、クリアランスを10cm以上確保する。  
 重圧管・VU管接合部は支管を使用。  
 擁壁の伸縮目地厚は10mmとする。  
 伸縮目地の設置間隔は10mを基準とする。  
 擁壁は地盤支持力を確認して施工すること。  
 コンクリート強度は無筋構造物24N/mm<sup>2</sup>  
 鉄筋構造物24N/mm<sup>2</sup>  
 重力式擁壁の載荷重は3.5kN/m<sup>2</sup>以下とする。(A型・B型)  
 ガッター枡から本管への接続は、VU150を使用。  
 土被60cm未満の箇所については管巻を施す。

L型側溝工法プロン部と床版との天端には段差を生じないこと。  
 宅地の水および土が道路に流出しないように盛土勾配は最終枡に向けて整地すること。  
 重力式擁壁から50cm以内に荷重を載荷してはならない。(A型・B型)  
 法面は30°以下の勾配で整地すること。  
 マンホール枡蓋は高松市型(那須与一)を使用。  
 マンホール枡蓋は浮上防止型を使用。  
 マンホール枡蓋は、最終枡から一次放流先まで、  
 開発協議の対象は、最終枡から1m以上とする。  
 本管上での取付管間隔は、1m以上とする。  
 予定建築物: 一戸建ての住宅。

作製: 平成28年 1月28日  
 高松市国分寺町新名440番地9  
 土地家屋調査士 西井俊二